

日本酒 ブックリスト

※本は貸出中の場合があります。

『酔い子の旅のしおり』

江澤 香織／著 マイナビ 2015

全国各地のおしゃれな日本酒スポットが紹介されています。新潟は「酒蔵数日本一、最強日本酒王国」と銘打たれており、新潟のお酒に対する熱い想いが著者にも伝わっているようです。長岡の「十分盃」が「ユニークなカラクリ盃」と紹介されています。

『作家の酒』

コロナ・ブックス編集部／編 平凡社 2009

酒好きの作家は酒をどう表現し、作品にするのか。飲み方もさまざま、酒の肴もさまざま、酒にまつわるエピソードもさまざまな作家たちの顔を見ることができます。本書を手掛かりに酒文学の世界を知るのもよいかもしれません。

『酒と器のはなし』

佐藤 伸雄／著 海鳥社 2005

酒を入れる器といえば、杯、徳利、それとも日本酒鑑定に使われる底に青い丸模様が入った利猪口（ききじょく）でしょうか。本書で登場する縄文時代にアルコールを生成するために作られた「有孔土器」の古さには驚きです。

『日本の酒うんちく百科』

永山 久夫／著 河出書房新社 2008

人と酒のつきあいは古く、古代から現代に至るまでの長い間に培われた関係は深く広くなっています。マニアックな知識を仕入れたい方は、古今東西の酒にまつわる話題を集めた本書をおすすめします。



その他にも図書館にはたくさんの本があります。貸出中の本は予約をすることができます。ご登録いただくと、スマホや自宅PCから確認や予約ができます。

どうぞご利用ください！

長岡市立中央図書館作成・平成27年9月作成 平成28年8月更新